

社会福祉法人 白寿会 行動計画

社会福祉法人白寿会は、地域に根づいた施設となるため、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保障しつつ、自立した日常生活を地域社会において営むことが出来るよう支援する事を目的にお手伝いしています。これからも利用者やその家族の声を聴き、職員一人ひとりの質の向上のもと、利用者の皆さんの安心と安全の確保を行い、職員が生き生きと活躍できる組織であり続ける為に、以下の行動計画を策定します。

1. 計画期間： 令和7年4月1日～令和10年3月31日までの 3年間

2. 現状：

- ①女性はライフステージで環境や家庭内での役割変化が大きいため 10 年後の継続勤務率が低くなっていたが、この3年間で 14.3%から 40.0%と、大幅に改善した。
- ②有給休暇の取得率は男女ともに増加している。
- ③残業時間については上昇傾向がみられるが、平均月1時間程度にとどまっている。
- ④働きやすい環境整備に努め、産休育休も取得しやすいが、男性職員の取得が少ない。

3. 内容：

目標1：産休育休制度のさらなる浸透を図るため、年々充実する国の制度について係長以上の職員および今後対象となる職員に周知する機会を年1回以上つくる

<対策>

- 令和7年4月～ 係長以上の職員を対象とした制度説明の場をつくる
- 令和7年4月～ 改正される制度についてわかりやすく伝えられる資料を作成し、対象職員への配布および掲示を行う。

目標2：残業を減らし、有休をとりやすく、男性も育児休業が取りやすい環境をつくるため、職員確保のための取り組みを充実する

<対策>

- 令和7年4月～ 職員確保について職員が主体的に検討する委員会を立ち上げる